

## 「担い手育成特定資産事業 活動事例紹介 皆川 淳さん（一関市）」

執筆者 一関農業改良普及センター 皆上和弘

一関市大東町で新規就農して2年目、15アールの雨よけトマト栽培に取り組んでいる皆川淳さんを紹介します。

皆川さんは高校卒業後、数年間他産業に従事した後に、地元に戻り、高校の同級生が取り組んでいたトマト栽培の手伝いをしていましたが、その同級生に勧められたのをきっかけに、トマトで農業経営主となることを決心しました。

令和元年度の栽培開始にあたっては、低コストでハウスを導入できることから、平成30年度地域経営資源継承支援事業を活用し、6アールの中古ハウスを自宅近くの水田に移設しました。

栽培初年度に12.9トンの出荷実績をあげ、JAトマト部会の平均反収約7トンに比べて3倍の大変素晴らしい結果でした。

ハウス周囲に防草シートを敷設し、さらに明きよを設置して排水対策に心掛けるなど圃場周囲の環境に気を配り、非常に綺麗な管理をしていることが出荷実績の向上に繋がっていると思います。

初年度の実績が令和2年のハウス9アールの増棟に繋がっており、中古ハウスの導入が経営確立に向けての大きなきっかけとなりました。

皆川さんの今後の活躍が大いに期待されます。



定植後2か月経過した6月末のトマトです



ハウス周囲の衛生管理が非常に行き届いています



10月に入っても樹勢が落ちない栽培管理をしています